



11月3日(日)森將軍塚まつりに1年生の「特産物」と「古代米」の探究グループが出店をしました。「特産物」グループは、前日に千曲市にある“和かふえよろずや”さんのご協力のもと、杏を使った「杏のガトーバスク」350個を作りました。「古代米」グループは、上田市の“十割そば処福田”さんにご協力いただき、「対馬」と「アクネモチ」の2種類の古代米を使ったポン菓子243袋を用意し、販売をしました。ポン菓子の袋のシールや説明書きも生徒の手作りです。出店を知った、2年生や3年生も買いに来てくれました。「こんなに売れるかな？」と心配していた生徒たちでしたが、「杏のガトーバスク」も「ポン菓子」も13時頃には完売し、皆大喜びでした。生徒たちはまつりの初めの古代行列にも参加したり、SDGs隊としても祭りを支え大活躍の1日でした。

森將軍塚まつりに出店



スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 特別講座とは？

屋代高校が文科省SSH指定校のため、附属中学校の生徒も、大学等の連携による、特別講座を受講することができます。

11月22日(金)は、東京大学の横山教授をお招きした特別講座を3年生が受講しました。先生は、附属中学校が開校する前から屋代高校で特別講義をしてくださっており、毎年分かりやすく、生徒とやり取りをしながら楽しく気象現象について講義をしてくださいます。今回も、生徒に「夏と冬で起こっている大気中の二酸化炭素の変動の理由は？」「二酸化炭素は悪者か？」「北向きの部屋と南向きの部屋、どちらが暖かい？」などたくさんの質問を投げかけてくださり、生徒に「様々な現象を多面的に考えること」「多様性を尊重すること」「たくさんの情報の中から本質を把握する重要性」「興味の幅を広げること」の大切さを教えてくださいました。授業が進むにつれ、生徒は、「日本では南向きの部屋が暖かいけど、南半球では違うよね」と様々な角度から質問の答えを考えるようになっていました。授業が終わった後も、横山先生のところへ質問に行く生徒もおり、「もっと長く授業を受けたかった」と生徒。たくさんの刺激をいただきました。

